

ビスの推進を目指し、現在検討を進めている。住基カード手数料の無料化等、先行自治体で実施された施策の費用対効果の検証や、外国人住民が多い当区の状態も踏まえ、実施すべき施策の最適化を行っている。

日暮里・舎人ライナー駅西側の区営自転車駐車場の早期整備を



【問】舎人公園駅下や谷在家駅、

西新井大師西駅等の西側の状況はどうか、今後の整備計画とあわせて伺う。

【都市建設】 谷在家駅西及び西

新井大師西駅の自転車駐車場については、平成24年4月の開設に向け整備を進めている。舎人公園駅下については、平成24年度秋頃の開設を予定している。今後は、扇大橋駅東のキャンセル待ち解消のため、平成24年度予算案に増設工事の経費を計上している。

また、現在実施しているライナー駅周辺の自転車等駐車場状況実態調査の結果を基に、既存施設の縮小・増設も含め、東西バランスの是正を図っていく。

日本共産党足立区議団

震災と原発事故の教訓生かす命とくらしを守る区政へ

日本共産党 鈴木 けんいち 議員



消費税増税は財政再建にも社会保障の充実にもならない

【問】政府は消費税を10%に引き上げる方針を決めた。1997年の5%引き上げ時は、回復傾向の景気が一度に冷え込み、国と地方の借金も膨らみ財政破綻を招いた。消費税増税は、財政再建にも社会保障の充実にもならないと思うが区長はどうか。

【区長】「持続可能な社会」の構築には、社会保障と税の一体改革は不可欠であり、一定程度の負担はやむを得ないと考える。

【問】原発をなくし自然エネルギーを推進する立場から、温室



【環境】 中長期目標における目標数値の設定は、慎重な取り扱いが望ましいと考える。

また、活用できる資源に乏しく、電力需要が膨大な当区でのエネルギー自給は、今のところ不可能と考える。

【生きがい奨励金】の増額を

【問】高齢者は相次ぐ年金削減や保険料値上げと、収入減・負担増の連続である。そのうえ生きがい奨励金の削減は、まさに「生きがいの削減」である。時代の変化に即して見直すというのなら、増額すべきではないか。

【地域】 減額により生じる財源は、大人用肺炎球菌ワクチン接種助成に充てることを予定する。

【問】区は介護保険料を基準月額で1千円余りも値上げする方向を示しているが、度重なる引き上げで高齢者の負担は限界を超えており値上げすべきでない。

わが党は、給付総額の過大な見直しを求め、公費負担を増やせば値上げはストップできる修正案を提出しているが見解を伺う。

大震災を教訓に命を守り人になやさしく災害に強い街に

日本共産党 針谷 みきお 議員



【想定外なし】の地域防災計画を策定せよ

【問】地域防災計画の見直しにあたり、以下の三点を指摘する。
①地震による災害を未然に防ぎ、被害を最小限に抑えるという「予防」重視の立場をとること。
②自己責任原則ではなく、「自助・共助・公助」を一体として捉え、計画づくりに生かすこと。
③区の地域特性を踏まえ、あらゆる被害を想定すべき。

【福祉】 安定的な制度運営を考えると、据え置きは不可能であり、保険料の上昇はやむを得ないものと考ええる。

認可保育園の計画的な増設を!

【問】①待機児童の多い千住・梅田・綾瀬地域に認可保育園を増設すべきと思うがどうか。
また、2013年度以降の認可保育園増設計画を立てて取り組むべきかどうか。

②保育所面積基準の緩和は重大な質の低下に道を開くものであり、当区では実施すべきではないと思うがどうか。

【教育長】①平成25年度に向け、千住・梅田地域に認可保育園を民設民営により整備していく。綾瀬地域は、大規模開発に準じた対応を考える。

また、今後は、毎年、地域別の保育需要をよりきめ細かく精査して整備方針を改定していく。

【子ども】②当区での基準緩和適用は基本的に考えていない。

【危機管理】 ①重視していく。

②今後も「自助・共助・公助」、三位一体で対策を進めていく。
③「想定外」を極力排除しうる計画を目指していく。

【問】①混雑解消のため、日暮里・舎人ライナーの車両増(6両編成へ)等を求めるがどうか。
②竹ノ塚駅付近鉄道高架化事業について、仮に都7割、区3割

負担に戻れば区負担は45億円減る。今後、都に新たな費用負担を求めるべきかどうか。



足立区議会民主党

改革を実行するには

大胆さに欠けるがどうか

民主党 鈴木 あきら 議員

来年度予算編成に対する区長の考えを問う

【問】平成24年度予算は、「時代の変化に挑む!」と言うには大胆さに欠けると思うがどうか。他に、区長が大胆さをアピールするものは何か。

【区長】大胆に改革を実行すると、それに伴う反動、また痛みも大きいものがあると考ええる。改革自体がそれによって挫折・頓挫することも考えられるため、大胆に行くべき時は行く必要もあると思うが、敢えて堅実に、ことさらに奇をてらわず着実に歩みを進めていくことこそ大切と考える。

子育て環境は住まいを選ぶ際の重要な要素である

【問】子育てにやさしく、一定の条件を満たした場合、区が「子育て支援マンション」として認定する制度を導入してはどうか。また、大規模集合住宅の建築

また、補助第261号線の赤山街道以西の整備は、高架化事業とは切り離すべきではないか。

【都市建設】①当面、今後の推移を見守っていきたく考える。

【鉄道立体】②他区の動向を注視しながら、状況に変化があれば必要な働きかけを行っていく。また、補助第261号線は、事業の完成にあわせて整備できよう、都へ要望していく。



【子ども】 大規模集合住宅建設に伴う保育需要対策として、子育て支援施設の設置協議を行っているが、一定戸数の販売を保留する等、子育て支援施設の設置については財産管理上の課題等が想定されている。子育て支援マンション認定制度とともに研究課題とさせていただく。

足立区議会みんなの党

財源56.8%での自立した経営とは?

女川町ガレキ処理

みんなの党 浅古 みつひさ 議員

限られた財源の中でどのように区の権限と責任をはたすのか

【問】自主財源が16.3%、財政調整交付金を加えても56.8%しかない中で、どのように自らの意思で区の権限と責任をはたしていくのか。責任をもって「自立した経営」を進めていかなければならない使命を担っていくのか。

【区長】必要な施策の展開には、自ら財源を確保することが必要である。そのためには、事業を一から見直し、時には痛みを伴

う改革を進めると同時に、歳入面の改革も不可欠と考える。

ただ、一番重要なのは、痛みを伴う改革の先に、自治体の意思がどこにあるかを明らかにし、区民等のご理解やご協力を得ることにあるかと思う。

被災地のガレキ焼却受け入れには万全の体制を整えよ



用語解説 *スラグ：可燃ごみの焼却灰を1千200℃以上の高温で加熱し、溶融・固化してできる人工砂のこと。